

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

お ん ね な い

月刊 温根内 通信

—— 2022 年 10 月号 No.313

10 月 15 日 (土) 発行 ——



秋の「赤」を探して

今年の道内の紅葉はいまひとつ、という声がちらほら聞かれます。温根内周辺でも、いつも目を引くモミジの葉の赤色がどうも不調のようです。

そんな中でも、こちらの目を凝らせば、秋の赤色はそこかしこに隠れています。目立つのはサトイモ科やニシキギ科などの植物の実。「どうぞ食べてください」とばかりに主張しているように見えても、有毒のものも多いので油断できません。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（9/15～10/14） ☆☆☆

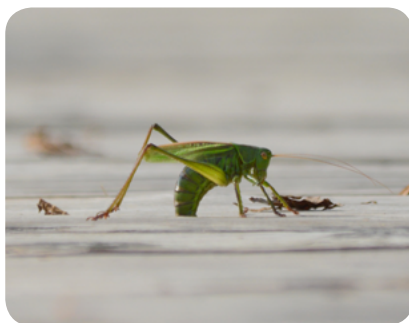


ハンノキ（実・花芽）】 カハノキ科 榛の木

ハンノキの枝先をよく見ると、色や形が微妙に異なる突起物のようなものが確認できます。やや緑色がかかった楕円形の物体は今年できた実。それと似ていますが、より色が茶色く、ひだが裂開しているのが昨年できた実です。そして、ゾウの鼻のようなものは来年咲く雄花・雌花の「花芽」で、この状態で冬を越します。このように、この時期のハンノキには3世代が「同居」しているような状態が見られます。



【マユタデアカネ】 トンボ科
昆虫の中でも、トンボの仲間は今でも多く見ることができます。本種のほか、キトンボ、アキアカネ、ムツアカネなどが占めています。



【ハネナガキリギリス】 キリギリス科
メスの産卵する姿は秋のおなじみの光景です。足もとには注意して歩きたいものです。

もうすぐ見られるかも！



2020年11月6日撮影

【マヒワ】 ハンノキの実をついばみに、湿原までやって来ます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥（9/15～10/14） ☆☆☆

秋も深まって、野鳥にとっては今は渡りの時期。温根内でも夏鳥・旅鳥・留鳥、色々な種類の野鳥が見られるようになってきています。上空では、ヒシクイやオオハクチョウといった旅鳥の姿や鳴声も確認できています。



【ベニマシコ】 夏鳥（一部越冬）
アトリ科 紅猿子
これから渡っていく個体でしょう
か、数日間だけ確認できました。
ハンゴンソウの実で腹ごしらえ。



【エナガ】 留鳥
エナガ科 柄長
群れで移動し、他のカラ類と一緒に
行動していることも。北海道の
エナガは亜種シマエナガ。



【オオアカゲラ】 留鳥
キツツキ科 大赤啄木鳥
アカゲラよりひと回り大きく、豪
快に木を突いていました。腹部に
黒い縞状の斑が見えるのも特徴。

○温根内木道周辺で観察された花と鳥（9/15～10/14）

花（和名は五十音順 * 外来種）	25 セイヨウタンポポ *	鳥（和名は日本鳥類目録第7版の順）	25 ウグイス
1 アキノウナギツカミ	26 タニソバ	1 ヒシクイ	26 エナガ
2 イヌタデ	27 チドリケマン	2 オオハクチョウ	27 メジロ
3 イヌトウバナ	28 トウヌマゼリ	3 キジバト	28 コヨシキリ
4 ウシハコベ	29 ドクゼリ	4 アオサギ	29 コジュウカラ
5 ウメバチソウ	30 ナガボノシロワレモコウ	5 タンチョウ	30 キバシリ
6 エゾイヌゴマ	31 ナギナタコウジュ	6 タシギ	31 クロツグミ
7 エゾイラクサ	32 ハナタデ	7 トビ	32 アカハラ
8 エゾオオヤマハコベ	33 ハリコウガイゼキショウ	8 オオタカ	33 ツグミ
9 エゾゴマナ	34 ハンゴンソウ	9 ノスリ	34 ノゴマ
10 エソトリカブト	35 ヒメジョオン *	10 コゲラ	35 ノビタキ
11 エソヤマアザミ	36 ヒメムカシヨモギ *	11 オオアカゲラ	36 コサメビタキ
12 エソリンドウ	37 ヒヨドリバナ	12 アカゲラ	37 キビタキ
13 オオバセンキュウ	38 ヘラバヒメジョオン *	13 クマゲラ	38 オオルリ
14 オオヨモギ	39 ホソバアカバナ	14 ヤマゲラ	39 ハクセキレイ
15 カタバミ	40 ミソガワソウ	15 モズ	40 ビンズイ
16 キツネノボタン	41 ミソソバ	16 カケス	41 タヒバリ
17 クサノオウ	42 ミチャナギ	17 ハシボソガラス	42 カワラヒワ
18 コウゾリナ	43 ミツバフウロ	18 ハシブトガラス	43 マヒワ
19 コガネギク	44 ミミコウモリ	19 キウイタダキ	44 ベニマシコ
20 コメツブウマゴヤシ *	45 ムラサキツメクサ *	20 ハシブトガラ	45 アオジ
21 サラシナショウマ	46 ヤナギタウコギ	21 ヒガラ	46 クロジ
22 サワギキョウ	47 ヤナギタンポポ	22 シジュウカラ	47 オオジュリン
23 シオガマギク	48 ヤマハハコ	23 ヒバリ	
24 シロツメクサ *	49 ヨシ	24 ヒヨドリ	

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることは
おやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆ 木道の工事が始まります ☆☆☆

10月17日（月）より、古い木道部分の改修工事が行われます。
工事期間は翌年3月31日までとなっております。期間中は図の
赤線区間が通行できませんのでご了承ください。また、工事用車両
がビジターセンター入口付近を往来することがありますので、来館
の際はお気をつけください。

ご不便をおかけしますが、皆様が気持ちよく散策できるよう、工事
をしておりますので、ご理解をお願い申し上げます。



☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「ザリガニウォッチング2 ～ニホンザリガニ編～」

10月9日 参加者：12名 講師：照井滋晴（NPO 法人 PEG）

ニホンザリガニの生態を学び、実際に鶴居軌道跡の水辺を中心に探しに行く、恒例のザリガニウォッチング～ニホンザリガニ編～を行いました。講師の照井氏からザリガニ全般のレクチャーを受けた後、屋外へと繰り出し、大搜索を試みました。最初の比較的水の流れがはっきりした箇所では、お目当てのニホンザリガニは見当たらなかったものの、エソトミヨやエソホトケドジョウといった魚類が続々と見つかり、湿原の環境の豊かさを実感できました。さらに搜索しながら進みましたが、ニホンザリガニはなかなか見つからず、折り返し地点まで来たその時、「いました！」の声。小さなニホンザリガニが落葉の下から何とか見つかりました。その後、見つかった地点の周辺を中心に探すと、追加で3尾が発見でき、合計4尾となりました。中には今年生まれと思われる個体もいて、無事ここで繁殖していることもわかりました。10名以上で1時間探してもこれくらいしか見つけれないほどの、ニホンザリガニの貴重さを知ることのできた1日となりました。



○ 自然ふれあい行事 ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪初冬の植物を見に行こう

〔日時〕11月13日（日）10：00～12：00

〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）〔参加費〕無料〔場所〕温根内ビジターセンター
これから厳しい冬を迎える湿原。植物たちはどのような戦略で冬を乗り切るのでしょうか。

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月27日（日）13：00～15：00

〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）〔参加費〕¥500（材料費）

〔場所〕温根内ビジターセンター

もうすぐクリスマス。自然の素材を使ってオリジナルリースを作成しましょう。



○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪初冬のキノコ講座

〔日時〕11月5日（土）10：00～12：00

〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

♪クリスマスリースを作ろう

〔日時〕11月26日（土）13：00～15：00

〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕500円（材料費）

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～開館時間が変わります～

11月から当センターの開館時間は16時までとなります。また、16時の閉館をもってトイレもご利用できなくなりますのでご注意ください。

また、日の入り時刻も早くなってきております。午後からの散策には、お時間に余裕を持ってお楽しみください。

.....
月刊 温根内通信 No.313

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9：00～17：00（11月～3月は16：00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料
.....